

## 2-9 保健所としての総括(1)

### ■ 患者についてわかったこと

- 症状・所見(佐久総合病院受診時)
  - 体温39.3℃、血圧130/80、脈拍110、呼吸数24、SpO2 94
  - 時おり激しく咳き込んで呼吸苦しさを訴えるが、歩行可能
- 検査
  - A診療所の迅速診断でインフルエンザA型陽性
  - 本日、咽頭ぬぐい液を採取し、環境保全研究所に搬送
  - 明日の朝、H亜型が判明。陽性であれば、国立感染症研究所に搬入し、N型が2、3日で判明
- 行動
  - 新型インフルエンザが発生しているB国から直行便で2日前に成田空港に到着し、その日のうちにJR線でA村に入り、友人の車にて農家に来た
  - 農家には5人の家族がいる
  - 患者は、アルバイト2名と農家の母屋とは別の宿舎を利用
  - 昨日は、1日、農作業の手伝いをしてしたが、夜、村のコンビニに友人の車と出かけた
  - 今日、友人の車でA村診療所を受診し、外来患者及び職員と接触

### ■ 同伴者についてわかったこと

- 発熱、呼吸器症状等の症状は認められない
- 患者と2日前の夜から同じ宿舎を利用し、先ほどまで患者とともに行動



## 2-9 保健所としての総括(2)

### ■ 今後の予定

- 患者が接触した場所の消毒
  - 宿舎、友人の車
- 接触者への対応
  - 宿舎の同居者、農家の家族、A診療所が対象となる
  - ウイルス検出前なので、任意の調査となるが、直ちに実施
  - 対象者への説明
    - A診療所の外来患者以外には説明が必要
    - 症状の有無を確認し、健康観察、他者面会の自粛、咳エチケットを説明する
  - 予防投薬の実施
- 同伴者の健康観察を実施
- 新型インフルエンザまたはその疑いと診断された時点で
  - 法的調査への切り替え
  - 地域封じ込め対応の検討

